

第63回関西実業団対抗駅伝競走大会終了のご報告

第63回関西実業団対抗駅伝競走大会はコロナ禍での開催となりましたが、秋晴れの紅葉彩る龍神村にて、地元駅伝実行委員をはじめ、龍神村教育事務所、和歌山陸協等関係各位の多大なるご協力をいただき、無事終了することができました。心より感謝申し上げます。

さて、優勝されましたNTT西日本の皆さんおめでとうございます。また、最後まで全力で力走された選手の皆さん大変お疲れ様でした。

今回の大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、無観客での開催となりチーム応援及び地元住民の皆様の沿道での応援自粛をお願いし、開閉会式・表彰式を取りやめての大会運営となりました。一方、ライブ中継で選手の力走をお届けし、当日約7万アクセスと過去最高となり多くの皆様に駅伝大会をご覧いただくことができました。沿道での温かい声援はありませんでしたが、上位5チームが4時間を切る好記録でゴールし、区間新記録も4つと実り多い大会となりました。また、全チームが事故なく無事終了することができましたことを嬉しく思っております。

本大会は来年元旦に開催の全日本実業団対抗駅伝競走大会（ニューイヤー駅伝）の予選会を兼ねており、NTT西日本、住友電工、SGホールディングス、大阪ガス、大塚製薬の5チームが本大会に出場致します。

是非、関西実業団連盟の誇りとプライド（#KANSAIPRIDE）を胸に悔いのないレースを行っていただくことを願っています。

来年は龍神村での開催30回の記念大会となります。新型コロナウイルスの一日も早い収束と記念大会にふさわしい、盛大な大会が開催できますことを祈念しております。

最後になりますが、本大会の開催・運営にご尽力賜りました関係機関をはじめ、関係者の皆様に心から御礼申し上げます。

ありがとうございました。

令和2年 11月17日

関西実業団陸上競技連盟
会長 仮屋 雄司

関西実業団対抗駅伝競走大会 歴代優勝チーム

※第37回以前には、今大会出場チームの優勝はありません。

第38回	1995年(H7年)	大塚製薬	(1回目)
第39回	1996年(H8年)	大塚製薬	(2回目)
第40回	1997年(H9年)	四国電力	(1回目)
第41回	1998年(H10年)	佐川急便	(1回目)
第42回	1999年(H11年)	大塚製薬	(3回目)
第43回	2000年(H12年)	山陽特殊製鋼	(1回目)
第44回	2001年(H13年)	大塚製薬	(4回目)
第45回	2002年(H14年)	大塚製薬	(5回目)
第46回	2003年(H15年)	大塚製薬	(6回目)
第47回	2004年(H16年)	山陽特殊製鋼	(2回目)
第48回	2005年(H17年)	大塚製薬	(7回目)
第49回	2006年(H18年)	山陽特殊製鋼	(3回目)
第50回	2007年(H19年)	山陽特殊製鋼	(4回目)
第51回	2008年(H20年)	大塚製薬	(8回目)
第52回	2009年(H21年)	大塚製薬	(9回目)
第53回	2010年(H22年)	佐川急便	(2回目)
第54回	2011年(H23年)	佐川急便	(3回目)
第55回	2012年(H24年)	佐川急便	(4回目)
第56回	2013年(H25年)	SGHグループ	(5回目)
第57回	2014年(H26年)	大塚製薬	(10回目)
第58回	2015年(H27年)	大塚製薬	(11回目)
第59回	2016年(H28年)	大塚製薬	(12回目)
第60回	2017年(H29年)	SGHグループ	(6回目)
第61回	2018年(H30年)	NTT西日本	(1回目)
第62回	2019年(令和元年)	SGHグループ	(7回目)
第63回	2020年(令和2年)	NTT西日本	(2回目)